

6月16日 2013(平成25年) 主日礼拝

礼拝開始: 午前 11 時

父の日

司 会 : 小木秀夫 兄
奏 楽 : 米田 香 姉
おいのり : 赤塚孝子姉
さんび : 新聖歌 282 (見ゆるところによらず) 1・2・3 節
十 戒
聖 書 : ルカによる福音書 7 章 36~47 節
(朗読: 持田樹理姉)
音 楽 : 男性コーラス「主にすがる我に」
メッセージ : 「愛の後ろ側へ」 倉知 契 牧師
さんびと 献金 : ♪ 明日はどんな日か
頌 栄 : ♪ 新聖歌 63「父 御子 御霊の」
祝 禱
報 告
特別映像 : 「ディックとリックの物語」

【瀬戸ニュース】

- ◇ 教会へようこそ！心からご歓迎いたします。
- ◇ 今週も祈禱会を大切に！
 - 木曜祈禱会: 朝10:30
 - 土曜 : 会堂清掃 10:30~、 11:15~準備祈禱会
- ◇ 宿題(祝大)今週もむさぼるように聖書を読みましょう！
 - Aコース : ヨハネ18章~使徒1章
 - Bコース : 歴代志下 29 章~エズラ記 10 章
- ◇ 父の日Special!
第一回 みんなで卓球大会

◇次聖日礼拝奉仕者(2013年6月23日)

[司会: 大神真伸兄、いのり: 下岡晶子姉、聖書朗読: 大神久美姉]

[ピアノ: 小島明美 姉、賛美リード: 小島 誠 兄]

[アシスト: 鄭 恵真姉 & 大神美乃姉]

[献金: 持田樹理姉、受付: 加藤由美子姉]

◇PA: 平松章治兄

◇週報編集: 片岡洋一兄

◇ホームページ編集: 大神真伸兄



Impossibilities Become Challenges!! (不可能は挑戦になる!)

これは奈良県にある生駒聖書学院の創立者クート宣教師の言葉。先週の火曜・水曜とこの聖書学院の特別講師として出掛けてまいりました。現院長の榮義之先生は三度の脳内出血にも、信仰による奇跡の回復をなし、創立者の言葉の通り、「不可能は挑戦になり可能になる」という不屈の精神で主にお仕えしておられました。講師として出掛けましたが、ひざまずいて神の器、榮先生に按手の祈りをさせていただいたことが一番の祝福でした。

榮先生の著書「30秒の祈りが世界を変える」にこんな内容がありました。数年前、歯医者に行き治療が終わると応接室に招かれ「祈っても答えられないのは何故ですか」と質問を受けた。ためらうことなく、「疑いながら祈るからです」と答えると、「その通りですね。ではどうしたら疑わないで祈ることができるのですか」と二番目の問い。「そうですね、イエス・キリストのお名前によって祈ります。アーメン。と祈ったら、疑いや恐れが来る前に、ありがとうございます。答えられました。感謝しますと先取りで告白すればいいですね」と答えました。

あるとき、国家試験を受けた学生に同じようにお勧めしたところ、「イエス様の御名によって合格させてください。アーメン。ありがとうございます。合格しました。感謝します」と毎日素直に祈ってくれた。でもある日電話がかかって、「そう祈っても合格していなかったらどうするのですか？」と質問された。「その時はその時です」と答えると、「そうですね、まだどうなるか分からないのに心配してもどうにもなりませんね。その時はその時ですね」。幸いその方は合格して、医師として活躍しているそうです。

榮先生が子育てで大切にされたことは「約束したことは必ず守った」こと。子どもは誕生日にあれが欲しいと願って、父がわかったよと答えると二度とうるさく求めてくることはなかったそうです。時間が経っても、祈りは聞かれると愛の信頼がある。今日は父の日、天のお父様は信頼して祈るすべての子どもたちを裏切りません。思いをはるかに超えた祝福が皆さんにありますように！

「この人の罪はたとえ多くとも赦されている。それは、この人が多く愛したことからわかる。」
(ルカ福音書七章四十七節・岩波訳)

瀬戸カルバリーチャペル

倉知 契